

堺市指定管理者評価表

(評価対象期間： 令和6年4月1日 から 令和7年3月31日 まで)

1 基本情報

(1) 公の施設の名称	
堺市立町家歴史館山口家住宅、堺市立町家歴史館清学院、鉄炮鍛冶屋敷(堺市立町家歴史館井上関右衛門家住宅)	
(2) 施設の設置目的	
本市が所有する文化財の指定等を受けた歴史的建造物の保護及び保存並びにその活用を図るとともに、市民の郷土への理解を深め、文化の向上と交流を図る。	
(3) 所管部局	
文化観光局 歴史遺産活用部 文化財課	
(4) 指定管理者名	
株式会社パソナジョイナス	
(5) 指定期間	
令和5年8月1日から令和11年3月31日(5年8か月間) (令和5年8月1日から令和6年3月2日までは開館準備期間)	
(6) 主な事業	
<ul style="list-style-type: none"> 施設の運営に関する業務 施設の維持管理に関する業務 「堺の歴史文化を活かした誘客促進事業」の実施 	
(7) 施設分類	(8) 有料施設の有無
文化・教育施設	有 (利用料金制)
(9) 開場時間	(10) 休館日
10時00分から17時00分(入館は16時30分まで)	<ul style="list-style-type: none"> 火曜日(ただし祝日の場合は翌日) 年末年始(12月29日～1月3日)
(11) 選定方法(公募・非公募の別)	
公募	

次頁以降の各管理運営状況の取組評価については、以下の評価基準により評価を行う。

評価基準	a	要求水準を上回り、優れた管理運営がなされている
	b	要求水準を満たしており、適正に管理運営がなされている
	c	要求水準を下回る管理運営がなされている
	d	要求水準を大幅に下回る管理運営がなされている

2 管理運営状況

(1) 適正な管理運営の確保

ア 取組評価

	指定管理者	市
市民の平等利用や日常の事故防止、当該業務において回避しなければならないリスクに対して、回避するための具体的な方策を講じているか。	b	b
防犯、事件事故及び災害の発生時又は発生に備えた対応が適切であったか。	b	b
利用者の個人情報の取扱いや情報管理体制は適切であったか。	b	b
仕様書等で定めている人員配置(障害者、高齢者等)は、適切に為されているか。	b	b
人材育成の方針や研修計画等に基づいて、職員の資質や能力の向上を図るために必要な研修を適切に実施していたか。	b	b
施設の設備、器具備品は、適切に管理していたか。また保守点検や法定点検は、適切に実施していたか。	b	b
施設の設置目的や市が定める各種計画等に則って施設の管理運営が適切に行われたか。また、施設を最大限活用して、設置目的に沿った成果を得られたか。	b	b
利用者への情報提供、広報が適切に行われているか。また効果があったか。	b	b

イ 評価に関する所見・特記事項

指定管理者	市
文化財建造物である施設特性を踏まえた上で、利用者が安全かつ快適に利用できる運営及び施設内の火気管理を徹底し、消防法上必要な措置をとった上で管理及び事業を実施した。	施設の設置目的や特性を理解した上で適切に管理運営が行われ、SNS等の効果的な活用等により広報に努めた。

(2) 利用者サービスの向上

ア 利用状況

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
指定管理者名		株式会社パソナ ジョイナス	株式会社パソナ ジョイナス
利用者数(単位:人)		5,277人	33,098人
稼働率(単位:%)		-	-
利用者満足度(単位:%)		-	87%

イ 取組評価

	指定管理者	市
利用者が利用者しやすい料金の設定や利用区分になっているか。	b	b
利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られていると言えるか。	b	b
利用者からの苦情、要望への対応が適切に行われ、また、利用者の意見を施設運営やサービスに反映させる取組がなされたか。	b	b
自主事業の実施など施設の設置目的の範囲内で、サービスの質を維持・向上するための具体的な取組がなされたか。	b	b

ウ 評価に関する所見・特記事項

指定管理者	市
・利用者アンケートにより利用者の要望や意見を聴取し、文化財課とも協議の上、施設運営やサービスに反映した。 ・また、利用者満足度の向上をめざし、施設の設置目的に沿った形で自主事業を実施した。	・利用者アンケートやイベント参加者の意見聴取の結果を適時施設運営やサービスに反映した。 ・ミュージアムショップやキッチンカー等、利用者の満足度向上につながる自主事業を実施した。

2 管理運営状況

(3) 収支

ア 収支状況

(単位:円)

■ 指定管理業務

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	【参考】 令和6年度(予算)
指定管理者名			株式会社パソナ ジョイナス	株式会社パソナ ジョイナス	株式会社パソナ ジョイナス
収入	指定管理料		15,624,000	37,085,000	37,085,000
	利用料金		982,970	5,897,630	12,200,000
	負担金		0	0	0
	その他		600	146,000	100,000
合 計			16,607,570	43,128,630	49,385,000
支出	人件費		8,965,961	24,876,496	25,080,000
	委託料		3,049,742	2,985,048	5,320,000
	総支出額に占める 委託料の割合		14.1%	6.8%	10.8%
	修繕費		0	0	600,000
	光熱水費		395,900	1,701,843	1,800,000
	その他		9,256,613	14,313,743	16,585,000
合 計			21,668,216	43,877,130	49,385,000
収支差額			-5,060,646	-748,500	0
(市への納付金の額)			0	0	0

■ 自主事業

(有)

(単位:円)

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	【参考】 令和6年度(予算)
収 入			125,710	1,019,110	3,154,500
支 出			1,124,070	2,137,689	3,154,500
収支差額			-998,360	-1,118,579	0
(市への納付金の額)			0	0	0

イ 取組評価

	指定管理者	市
施設の管理運営に関し、経費を縮減するための十分な取組が図られているか。	b	b
収入を増加するための具体的な取り組みがなされ、その効果があったか。	c	b
当初の収支計画どおりに適切、適正に予算執行がなされているか。	b	b
経理事務は適正に行われているか。	b	b

ウ 評価に関する所見・特記事項

指定管理者	市
効果的なイベント実施による集客実施、また山口家住宅使用件数で挙げている利用促進の施策を効果的に実施することで利用料収入を確保できるように努めたい。	集客につながるイベントの実施や山口家住宅の貸館利用者向けのチラシの作成等、利用促進につながる取組を積極的に行った。 なお、利用料金収入が予算額を下回った要因として、目標人数が未達であり、利用者数が少なかったことが大きな要因であると考えられるため、各イベントの実施方法及び実績について分析を行い、次年度以降当該改善点を踏まえた企画とすることなどにより改善に取り組んでもらいたい。 また、自主事業の収支差額については、開館翌年でありミュージアムショップのグッズを複数作成したことから、グッズ作成に係る初期投資費用の支出額が大きくなった。

3 目標管理、総合評価

(1) 目標管理

ア 市が仕様書で定める目標の達成状況

■ 適正な管理運営の確保

指標	目標	実績
入館者数	年間41,000人以上	年間33,098人
山口家住宅使用件数	年間48件以上	年間52件利用

■ 利用者サービスの向上

指標	目標	実績
「堺の歴史文化を活かした誘客促進事業」実施件数	年間336回以上	年間1,102回実施
利用者対象のアンケート調査の結果	「満足」の回答が年間入館者の80%以上	アンケート調査による再来館希望87%

■ 収支

指標	目標	実績
利用料金収入	年間12,000千円以上	年間約5,897千円

イ 実績に関する所見・特記事項

指定管理者	市
<p>・年間入館者目標41,000人以上に対し、年間33,098人と目標未達成となった。5月度来館4,509人、11月度来館者4,255人と月間あたりで当初想定を上回る月もあったが、9月度来館者1,754人、12月度1,439人、1月度来館者1,646人、2月度来館者1,796人と、いわゆる閑散期の来館者が想定を大きく下回り、結果として目標未達成の大きな要因となった。</p> <p>・年間を通じてイベントを実施したが、令和7年度はこの閑散期に町家歴史館3館を周遊するイベントを実施することで来館者を伸ばしたい。</p>	<p>・「堺の歴史文化を活かした誘客促進事業」を目標を大幅に上回る回数実施し、一定の入館者数の獲得及び利用者満足度の目標達成につなげることができた。</p> <p>・一方で、入館者数については目標未達成となった。令和7年度は、令和6年度の分析を踏まえ、これまで以上に閑散期の誘客促進やファミリー層など新規層の獲得につながる事業を実施いただきたい。</p>

(2) 総合評価

目標の達成状況のほか、管理運営状況も含め、以下の評価基準により総合的に評価を行う。

	指定管理者	所管課
評価	B	B
評価の理由	<p>入館者目標に対して目標未達成となったが、堺の歴史文化を活かした誘客促進事業及び利用者対象のアンケート調査の結果については良好な結果となったが、事業及びアンケート結果が来館者促進につながらなかった側面もあった。令和7年度については、事業回数及びアンケート結果の同水準を保持しながら、町家歴史館の周遊を促すイベントを実施し、町家歴史館3館ともご利用いただけるイベント及び環境を整えたい。</p>	<p>入館者目標は未達成となったが、平素より地域の事業者と良好な関係を築き連携して事業を行っていただけでなく、各イベント終了ごとに、当該イベントの課題分析や次回実施に向けた文化財課との協議等を行う等、入館者目標の達成に向け対応を行っていた。今後も、利用料金も含めた目標達成に向け、効果的な運営やイベントの実施に尽力いただきたい。</p>

評価基準	A	仕様書で求める目標や水準を上回る管理運営がなされ、優良であるもの
	B	概ね仕様書で求める目標や水準どおり(80~100%)の管理運営がなされ、適正であるもの
	C	管理運営が仕様書で求める目標や水準を下回っており、努力が必要であるもの
	D	管理運営が適切に行われたとは認められず、改善が必要であるもの